

6	教育庁	理数系の学習の推進
事業概要	<p>(1) 東京都における理数教育振興を図るため、東京都理数教育振興施策検討委員会を設置し、理数教育の課題及び解決策を検討するとともに、小・中学校において、理数教育振興研究協力校を指定する。(平成24年度新規事業)</p> <p>(2) 都立高校においては、理数教育に特化した研究テーマを設定し、教育課程・教育内容・指導法などについて研究・開発する理数フロンティア校を指定するとともに、理数に関わるテーマを設定し、研究を行う部活動や生徒会活動、有志団体等を理数教育チャレンジ団体として指定する。 科学分野に興味・関心をもつ生徒の裾野を広げること及び科学分野のリーダー育成を目的とした「高校生科学の祭典」を実施する。(平成24年度新規事業)</p>	
これまでの経過	<p>(1) これまで小学校を対象として、次の2点の事業を行ってきた。いずれも国の委託を受けて実施してきたものである。</p> <p>ア 理科支援員配置事業(平成19~24年度) 小学校第5・6学年の理科授業に、学生や退職教員、企業技術者等を理科支援員として配置し、観察・実験の充実を図る。</p> <p>イ コア・サイエンス・ティーチャー(CST)活用事業(平成21~24年度) 大学と連携して、理科を得意とする小学校教員をCSTとして養成し、各地区において実施する研修会の講師として活用することによって、小学校教員の理科教育に関わる指導力の向上を図る。</p> <p>(2) 高等学校等における理数教育の推進に関しては、国の事業であるスーパーサイエンスハイスクールの指定を受け、取り組んできた。(平成14年度から) これまでの指定校 戸山高等学校、小石川中等教育学校、科学技術高等学校、 日比谷高等学校、多摩科学技術高等学校(平成24年度に新規指定)</p>	
現在の進行状況	<p>(1) 東京都理数教育振興施策検討委員会については、これまでに検討委員会を2回、幹事会を4回開催し、現行の事業の効果検証、理数教育における課題の分析及び課題解決策の検討等を行った。 理数教育振興研究協力校(15校)については、現在、東京都理数教育振興施策検討委員会から提言された取組を実施しているところである。</p> <p>(2) ア 理数フロンティア校(5校)では「新学習指導要領に対応した観察・実験プログラムの構築」など、教育課程や指導法についての研究を進めている。 理数教育チャレンジ団体(12団体)では「小笠原諸島の地質と貝形虫について」「府中周辺の地質フィールド 国分寺崖線とその生い立ちを探る」など、地域の特長を生かしたテーマを設定し、研究の方法などの育成を図っている。 イ 「高校生科学の祭典」の実施(11月18日)に向けて、準備を進めている。</p>	
今後の見通し	<p>(1) 東京都理数教育振興施策検討委員会における検討内容と、理数教育振興研究協力校における取組の成果と課題については、「東京都理数教育振興施策検討委員会 報告書」に掲載し、平成24年度末に都内公立小・中学校及び区市町村教育委員会に配布するほか、東京都教育委員会ホームページに掲載する。</p> <p>(2) 理数フロンティア校は中間報告、理数教育チャレンジ団体は研究成果報告を報告書としてまとめ、都立高等学校に配布する。また、成果発表会を実施し、生徒の発表(ポスターセッション等)の場を設ける。</p>	

問い合わせ先	教育庁 指導部 義務教育特別支援教育指導課	電話	03-5320-6841
	教育庁 指導部 高等学校教育指導課		03-5320-6898